

新登録薬剤紹介

テイクオフ[®] 粒剤 イマゾスルフロン粒剤

対象作物：移植水稻

成分・作用特性：本剤は、武田薬品工業株式会社が創製した橋頭位に窒素原子を有する縮合複素環を持つユニークなスルホニル尿素系除草剤イマゾスルフロン（1-（2-クロロイミダゾ〔1,2-a〕ピリジン-3-イルスルホニル）-3-（4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル）尿素）を0.3%含有する類白色の細粒である。

イマゾスルフロンは、湛水状態の水田に処理された場合、雑草の茎葉部、茎葉基部、根部から速やかに吸収され、分岐鎖アミノ酸（バリン、イソロイシン）の生合成に関与するアセトラクテート合成酵素の作用を阻害する。その結果、雑草は細胞分裂が妨げられ、生育を停止し、次第に退色し枯死する。

イネ体には吸収されにくいですが、吸収されても速やかに不活性物質に代謝されるため、イネー雑草間に高い選択性を示す。

特 徴：

1. 広範囲の雑草に卓効

本剤は、ノビエに対する効果がやや不足するので、ノビエに有効な移植前後の初期剤との体系で移植後10～15日に使用することにより、コナギ、カヤツリグサなどの一年生雑草はもとより、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ等の多年生雑草から、クログワイ、オモダカ、シズイ、エゾノサヤヌカグサ等の難防除雑草、アオミドロ、表層はく離にも高い効果を示す。

（取扱メーカー） 武田薬品工業株式会社

2. 長い抑草期間

抑草期間が極めて長いため、ノビエに有効な初期剤との体系処理で、稲作期間を通じて十分な除草効果が得られる。

3. 水稻に対する高い安全性

イマゾスルフロンはイネー雑草間に優れた選択性を有し、通常の使用方法では安心して使用できる。

4. 人畜・魚介類・有用生物に高い安全性

人畜毒性および魚毒性は低く、有用生物にも影響がなく、非常に安全性の高い除草剤である。

毒 性：

人畜毒性：普通物

魚 毒 性：A類

使用方法：

ノビエに有効な移植前後の初期剤との体系で移植後10～15日に10アール当たり3kgを湛水状態で均一に散布する。

使用上の注意：

1. 本剤はノビエ等のイネ科雑草には効果が劣るのでイネ科雑草に有効な初期剤と体系で使用する。
2. 多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。

ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始まで、クログワイは発生始まで、アオミドロ、表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。

3. クログワイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、有効な後期剤と組み合わせて使用すること。
4. 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付はていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
5. 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、落水、かけ流しはしないこと。
6. 以下のような条件下では薬害が発生する恐れがあるので使用をさけること。
- ① 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2cm／日以上）。
- ② 軟弱な苗を移植した水田。
- ③ 極端な浅植えの水田。
7. 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
8. 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。

適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り 使用量	本剤及びイマ ゾスルフロン を含む農薬の 総使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草（イネ科を除く）及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカ ワ、ミズガヤツリ、ヘ ラオモダカ（北海道）、 クログワイ（北海道、 北陸、九州を除く）、 ヒルムシロ（北海道）、 セリ（北海道）、アオ ミドロ、藻類による表 層はく離（北海道）	移植後10～15日 〔移植前後の〕 初期除草剤 による土壌 処理との体 系で使用	壤土～埴土 〔減水深2.0 cm／日以下〕	3kg	2回	湛水散布	北海道、東 北、北陸
			砂壤土～埴土 〔減水深2.0 cm／日以下〕				関東・東山 ・東海の普 通期栽培地 帯
			砂壤土～埴土 〔減水深1.0 cm／日以下〕				近畿以西の 普通期栽培 地帯

水田雑草の生態と防除 — 水稻作の雑草と除草剤解説 —

宮原益次／著
A5判 定価3,090円(税込)

水田雑草の発生特性、雑草害について著者40年の知見を網羅。さらに水田における合理的で省力的・低コストの雑草防除について解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665